

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社ブロッサム	代表者	藤原 美里	法人・事業所の特徴	「地域の人気者」をモットーに、地域に密着した事業所を目指しつつ、利用者様、そのご家族だけに留まらず、職員やその地域の皆様にも幸せになってもらう事を心掛けています。また地域のイベントに積極的に参加したり、事業所で行うイベントには地域の方にも参加して頂けるよう地域を盛り上げていけたらと思います。
事業所名	小規模多機能 きらり東睦	管理者	秋山 喜紀		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	5人	人	人	2人	1人	人	人	8人

※出席者について・・・各必要書類を書面で配布する事によりご意見を頂きました。

上記人数欄には書面配布を行った人数を記入しておりますので、ご理解の程宜しくお願い致します。

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	毎月勉強会を行う事で職員のスキルアップを行う。また記録、申し送りの漏れがある為、忘れないよう職員間で声を掛け合いタブレットに入力をする。	毎月、職員が講師となり研修を行っている。事業所や職員に必要な研修内容を検討しながら、実施できている。申し送りに関しては、申し送りノートとタブレットにて行っており、伝達漏れは起きていない。	毎月の研修や職員間でしっかり情報共有ができていると思う。	毎月の研修について、内容等を検討しながら実施できているが、内容や形式が慢性的になっているので再検討し、実施する。
B. 事業所のしつらえ・環境	コロナ収束後には開かれた事業所にするために情報を発信し地域との交流やイベントを開催する。	日々、地域の方にお会いした際に困り事がないか等、お声がけをしている。秋祭りを開催した際、近隣の地域の方にお知らせを行った。	地域の方としっかり関わり、地域に密着した事業所になってもらえたらと思います。	地域の方が気軽に訪れて下さったり、相談ができる事業所を目指す。
C. 事業所と地域のかかわり	5月に新型コロナウイルスも5類に下がる為、事業所の行事に地域の方を誘ったり、ボランティアの方にもきて頂き事業所外の方ともしっかりと関わって頂く。地域のイベントがあれば積極的に参加をしていく。	地域の方と協働は行えていないが、ボランティアの方に来て頂いたり、事業所で開催した秋祭りに地域の方が参加して下さった。秋祭り開催に伴い、ご近所にあいさつに何うと、盛大に開催して下さいとお言葉も頂いた。	地域の行事にも積極的に参加をお願いします。	事業所で開催するイベントに地域の方を招き、地域の行事にも積極的に参加する。ボランティアの方を招き、事業所外の方と関わって頂く。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	気候の良い時期には積極的にドライブや散歩に出かけ地域の方に挨拶や会話を行い関係作りを心掛ける。	ご利用者様と散歩や地域のゴミ拾いを行っている。その際、挨拶や会話をする事ができ、関係づくりに努めた。	地域のゴミ拾い等、良い取り組みだと思うので継続をお願いします。	散歩や地域のゴミ拾いを継続し、地域の方と挨拶や会話を行い、関係を深めていく。

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>新型コロナウイルスも5月より5類に下がる為、運営推進会議の開催を通常に戻し事業所で集まる事で、地域包括支援センターや地域の方と意見交換を行い、意見が出れば職員全員に伝達する。地域の取り組み等あれば積極的に参加する。</p>	<p>新型コロナウイルスが感染症の5類に移行され、事業所での運営推進会議が開催できた。2ヶ月おきに2ヶ所の事業所での開催を行い、事業所を知って頂く機会を作ることができた。運営推進会議で頂いたご意見を職員に伝達を行った。</p>	<p>新型コロナウイルスが5類へ移行されたので、地域や様々な関係機関と関わり、繋がりを築いていてほしい。</p>	<p>運営推進会議で頂いたご意見・ご指導を運営に反映していく。決まった職員だけではなく、様々な職員が参加できるよう調整する。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>事業所や地域の防災、災害対策を地域の方と情報を共有する。地域の防災訓練に参加していく。</p>	<p>事業所内で防災、災害対策の検討や研修を行ったが、地域の方と情報を共有することはできていない。</p>	<p>避難訓練等に参加させて頂いたことがないので、今後参加させて頂けたらと思います。</p>	<p>防災、災害対策の随時見直し、研修を継続し、地域の方へ情報共有を行っていく。</p>